

065

エッセイ

こう ぶん しや
講談社

779



京大芸人

きょうだいげいにん

著 すが ひろ ふみ
菅 菅広文

この本は菅君に「芸人になろう」と言われて、宇治原君がOKをして、芸人になった話です。この本には、宇治原君がどのような勉強をして、京大に受かったのかということが書いてあります。宇治原君の勉強法がとても詳しく書いてあるので、どんな予備校よりも実践的で、どんな参考書よりもおもしろいです。宇治原君が頭がいいヒミツは、納得できるくらい勉強したことや、独自の勉強法でやったからだなあとと思いました。／北山中 H.K

お笑いコンビ・ロザンのクイズ番組での活躍ぶりを見ていると、勉強法の効果にも期待できそうです！

066

エッセイ

しょうがく かん
小学館

9146



おんぶにだっこ

おんぶにだっこ

文 さくらももこ 絵 さくらももこ

『ちびまるこちゃん』が絵と文になったものです。実話なので共感できる部分なども数多くあります。

067

エッセイ

げんとう しや
幻冬舎

779



ベッキーの心のとびら

ベッキーのころのとびら

著 ベッキー

落ちこんだとき、泣きたいときに読むと元気になる本です。勇気づけられたり、共感できる言葉などがあります。



I like books!!

What is your favorite book?



夏の庭 —The Friends

なつのにわ —ざ ふれんず

作 湯本香樹実

「おじいさんが死ぬところ、見てみないか。」河辺は、友だちの木山、山下に奇妙な提案をしました。そして三人は空き家のような家に住む、弱ったおじいさんをずっと見張ります。そのうちに三人はおじいさんと仲良くなり…。「人が死ぬ」ということはどんなことなのか。彼らは、自分なりに答えを見つけていきます。言葉に言い表せないような感情が、よく分かるように表現されていて、最後はとても感動しました。夏にぴったりのさわやかな話です。／北山中 N.O

友情の深い木山、山下、河辺たちとおじいさんとの交流に、思わず笑ったり、涙したりしてしまう場面があります。こんなすてきな出会いがあるといいですね。

明日もまた生きていこう
十八歳でがん宣告を受けた私

あしたもまたいきでいこう じゅうはっさいでがんせんこくをうけたわたし

作 横山友美佳

バレーボール生活が一気に闘病生活になった横山さんの実話です。この人のように強く生きられるだろうか、という考えさせられる本です。



アシュリー ~All About Ashley~

あしゅりー ~おーる あばうと あしゅりー~

著 アシュリー・ヘギ

難病のため、14歳なのに90歳近い身体のアシュリー。彼女は自分の運命を悲観せず、前向きに明るく毎日を生活します。



電池が切れるまで

でんちがきれるまで

編 すずらの会

「命」と向き合う子どもたち一人ひとりの、「前向きに生きよう」「生きていることが誇り」という思いが伝わってきます。